

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-60162(P2007-60162A)

【公開日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-009

【出願番号】特願2005-241686(P2005-241686)

【国際特許分類】

H 04 W 28/00 (2009.01)

H 04 W 36/36 (2009.01)

H 04 L 29/08 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/26 109 M

H 04 B 7/26 107

H 04 L 13/00 307 C

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

E U Lにおいて、移動局が、第1識別子を用いて送信された第1絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第1絶対伝送速度、又は、第2識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第2絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する伝送速度制御方法であって、

前記移動局が、前記第1絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した前記第2絶対伝送速度を記憶する工程と、

前記移動局が、該移動局のサービングセルを変更する際に、記憶している前記第2絶対伝送速度を削除する工程とを有することを特徴とする伝送速度制御方法。

【請求項2】

E U Lにおいて、移動局が、第1識別子を用いて送信された第1絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第1絶対伝送速度、又は、第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した所定条件を満たす場合に用いられる第2絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する伝送速度制御方法であって、

前記移動局が、前記第1絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した前記第2絶対伝送速度を記憶する工程と、

前記移動局が、該移動局のサービングセルを変更する際に、無線回線制御局から送信された上りユーザデータの絶対伝送速度の更新情報に基づいて、記憶している前記第2絶対伝送速度を更新する工程とを有することを特徴とする伝送速度制御方法。

【請求項3】

E U Lにおいて、第1識別子を用いて送信された第1絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第1絶対伝送速度、又は、第2識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第2絶対伝送速度に基づ

いて、上りユーザデータの伝送速度を制御する移動局であって、

前記第1絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した前記第2絶対伝送速度を記憶するように構成されている記憶部を具備し、

前記記憶部は、前記移動局のサービングセルを変更する際に、記憶している前記第2絶対伝送速度を削除するように構成されていることを特徴とする移動局。

【請求項4】

EULにおいて、第1識別子を用いて送信された第1絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第1絶対伝送速度、又は、第2識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第2絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する移動局であって、

前記第1絶対伝送速度に基づいて前記上りユーザデータの伝送速度を制御している場合に、前記第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した前記第2絶対伝送速度を記憶するように構成されている記憶部を具備し、

前記記憶部は、前記移動局のサービングセルを変更する際に、無線回線制御局から送信された上りユーザデータの絶対伝送速度の更新情報を基づいて、記憶している前記第2絶対伝送速度を更新するように構成されていることを特徴とする移動局。

【請求項5】

EULにおいて、第1識別子を用いて送信された第1絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第1絶対伝送速度、又は、第2識別子を用いて送信された所定条件を満たす場合に用いられる第2絶対伝送速度制御チャネルを介して受信した第2絶対伝送速度に基づいて、上りユーザデータの伝送速度を制御する移動通信システムで使用される無線回線制御局であって、

前記移動局が、該移動局のサービングセルを変更する際に、該移動局に対して、上りユーザデータの絶対伝送速度の更新情報を送信することによって、該移動局において記憶されている前記第2絶対伝送速度を更新するように構成されていることを特徴とする無線回線制御局。